

## 本部長コメント

○保健福祉長寿局からの報告のとおり、8月下旬のピークに比べれば陽性者数は大きく減っており、これは、コロナ禍で苦しい状況が続いている中、休業要請などに協力してくださっている事業者の皆さんや感染予防行動を心がけてくださっている市民の皆さんのおかげだと、感謝したいと思います。

○しかしながら、10万人あたりの新規感染者数、病床使用率もステージ4の基準値を大きく超えるなど、未だに大変厳しい状況が続いており、医療のひっ迫は解消されていませんので、気を緩めてはならないと感じています。

○市民の「いのち」を守ることを最優先として、ワクチン接種の加速化を軸に、感染防止対策に取り組んでいますが、この度の緊急事態宣言の延長を受け、市民の皆さんが大きな不安を抱えています。

○多くの市民の方や事業者の方は、一生懸命、感染防止にご協力していただいておりますが、残念なことに一部に感染リスクの高い行動をしている方がいる。という声が私のところにも届いています。

○このような市民の皆さんの声を受け止め、不安をなくすこと、そして、何としても9月30日をもって緊急事態宣言を解除させなければなりません。そのためには、感染防止対策の対応レベルを強化し、感染拡大に歯止めをかけるための対策が必要であると考えています。

○先ほど危機管理統括監からの提案に対して、本田副市長をはじめ、各局長から賛同の意見がありました。これについては、私も自ら現場に立ち、人流抑制対策に全力で取り組んでいきたいと思えます。

○市民や事業者の皆さんに感染防止に最大限のご協力をいただけるよう、局間連携のもと、集中対策事業の実施に向け、準備と対応を早急に進めてください。

○私からは以上となりますが、本日は、多くのメディアの方が取材にきていただいておりますので、市民の方に是非、私からのメッセージをお伝えしていただきたいと思います。

○これまで感染予防にご協力いただき、本当にありがとうございました。皆さんのご協力のおかげで感染者は減りつつありますが、緊急事態宣言は延長せざるを得ない状況です。

○市民の皆さんの一人ひとりの行動が、大切な家族や友人を守ることにつながり、ひいては、地域医療を守り、活発な地域経済の再生につながりますので、引き続き、人と人との接触の機会を減らし、不要不急の外出を避けるとともに、感染リスクの高い行動をとらないようお願いします。

○先ほども申しましたが、本市としても9月30日をもって緊急事態宣言を解除させるよう、妊婦の皆さんやそのご家族、受験生の皆さんにワクチンの優先接種を実施するほか、医療機関のご協力により、市内の高校教諭のワクチン接種が進められていることなど、ワクチン接種を加速化し、接種率を向上させるよう取り組んでおります。

○また、自宅療養者のサポート拡充については、9月議会において予算規模を拡大し、自宅での安全・安心な療養環境を確保できるよう体制を強化するなど、市民の皆さんの“いのち”を守ることを最優先に、今後も感染防止対策に最大限の力を発揮し、全力で取り組んでいきます。

○自分の、そして、みんなの“いのち”を守るため、オール静岡市で感染防止対策に取り組んでいきましょう。